



主要な農作物の生育情報

令和4年度 第9号

(令和4年12月9日)

福島県農林水産部農業振興課



【土地利用型作物】

1 大豆

収穫は概ね順調に進んでおり、11月末までに約8割が終了しています。

2 小麦

播種は平年並に進んでおり、11月末までに約9割が終了しています。初期生育は、概ね良好です。

【野菜】

1 秋冬にら

2年株の2番刈りは、平年並の12月上旬から始まりました。また、1年株の1番刈りは、平年並の11月中下旬から始まっています。

目立った病害虫の発生は見られません。

2 いちご

促成栽培の普通育苗では、頂果房は平年並の11月中下旬から収穫が始まり、第1次腋果房が出蕾、開花期となっており、生育は順調です。

病害虫は、一部のほ場でうどんこ病、ハダニ類が発生しています。

3 秋冬ねぎ

収穫は平年並の11月中下旬から始まり約1割の進捗で、順調に進んでいます。

病害虫は、一部のほ場でべと病、さび病が発生しています。

【果樹】（農業総合センター果樹研究所）

1 りんご

(1) 「ふじ」の収穫期と果実品質

「ふじ」の収穫盛日は11月17日で平年並、満開後日数は206日で平年より5日長くなりました。収穫期における果実品質は、果実重が414gで平年よりも大きく、糖度(° Brix)が15.7で平年並でした。また、蜜入指数は2.0でした。

果実硬度は、満開後140日ごろ以降は平年より低めに推移し、収穫期には11.9ポンドとなりました。また、果皮中のクロロフィル含量は平年よりやや低く推移し、アントシアニン含量は平年より低く推移しました。

(2) 花芽分化率

花芽分化率(11月30日採取)は、「つがる」が89.2%で平年より高く、「ふじ」が73.2%で平年よりやや高くなっています。また、両品種とも一部の頂芽に褐変が見られました。

2 なし

(1) 花芽分化率

花芽分化率(11月28日調査)は、「幸水」が68.2%で平年より高く、「豊水」が71.7%で平年並となっています。

【花き】

1 ストック

年内出荷の作型は、開花は平年より3～5日程度遅れていますが、出荷終盤を迎えており間もなく終了する見込みです。

目立った病害虫の発生は見られません。

2 シクラメン

出荷は、平年並の11月下旬～12月上旬に盛期となり、順調に出荷されています。
一部で炭疽病の発生が見られています。

3 枝物

ユキヤナギは、11月末から促成を行っており、出荷は平年並の12月中旬から始まる見込みです。
サクラは、12月初めから促成を行っており、出荷は平年並の12月下旬から始まる見込みです。
目立った病害虫の発生は見られません。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>